

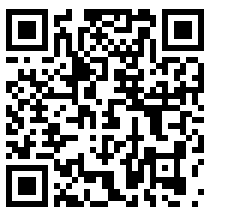
(資料9)



サウナのまち
豊後大野
BUNGO ONO

おんせん県で 「あえてサウナ。」 サウナのまち推進事業の取組

豊後大野市



★令和3年7月18日、全国初の「サウナのまち」を宣言

豊かな自然と恵まれた大地、文化継承などが高く評価され、九州で唯一「日本ジオパーク」と「ユネスコエコパーク」の両方に認定されている豊後大野市。

ここには、古くから石風呂の文化があり、先人たちは溶結凝灰岩の岩壁に穴を掘り、セキショウなどの薬草を炊き上げ、蒸し風呂を楽しんでいました。

こうした特色を背景に、大自然を生かしたアウトドア・サウナを観光資源として活用し、地域と連携して自然と共生した持続可能なまちづくりに取り組むため、令和3年7月に「サウナのまち」を宣言しました。



石風呂（蒸し風呂）文化



サウナのまち宣言式の様子



サウナのまちラッピングバス

『サウナのまち』宣言

近年、開放的な空間や、豊かな自然を求めてアウトドアを楽しむ人が増えています。

豊後大野市は、九州で唯一、「ユネスコ・エコパーク」と「日本ジオパーク」の両方に認定された素晴らしい自然と雄大で美しい大地を有しており、こうした自然や大地を体感できるアウトドア・サウナは、「おんせん県」を標榜する大分県にあって温泉資源のない本地域の新たな魅力や活力を生み出す原動力となっています。

豊後大野市は、このアウトドア・サウナを観光資源として活用し、地域と連携して自然と共生した持続可能な豊後大野市づくりに取り組むため、ここに『サウナのまち』を宣言します。

令和3年7月18日 豊後大野市長 川野 文敏

★「サウナのまち」宣言までの経緯

令和2年3月 アウトドアサウナ協議会「おんせん県いいサウナ研究所」設立

ゲストハウスLAMP豊後大野（市の指定管理施設）の支配人高橋ケン氏が発起人。

宿泊施設、観光施設等が川沿いにあることに注目し、その民間事業者に声掛けをし協議会を発足。

豊後大野市の自然を活かしたアウトドアサウナの普及活動を行うことにより、「サウナのまち・豊後大野」のコンテンツ形成及び当該コンテンツの全国認知を目指し、地域経済の活性化に寄与することを目的に事業を推進。サウナのまちの全国認知度をアップさせた。

あえて
サウナ。



おんせん県なのに
温泉がない街

大野市のとり「豊後大野市」には、おんせん県なのに温泉がありません。でも、世界から高く評価される「豊かな大自然に囲まれた癒しの街」だから、あえてサウナ。

豊後、この街には16世紀ごろから酒造りの文化があり、最近では本格フレンチスタイルサウナがいくつも誕生しています。

あなともやさしいロウリュウ（蒸気）に包まれて、あなごも癒になってみませんか。

ここでもお湯を沸かさない、まっさらな風景と静けさを感じながら。

SAUNA BOOTH
おんせん県いいサウナ研究所

あえて
サウナ。



おんせん県なのに
温泉がない街

大野市のとり「豊後大野市」には、おんせん県なのに温泉がありません。でも、「大野のサウナ」と呼ばれるおいしい温泉がいくつかあります。だから、あえてサウナ。

豊後、この街には16世紀ごろから酒造りの文化があり、最近では本格フレンチスタイルサウナがいくつも誕生しています。

あなともやさしいロウリュウ（蒸気）に包まれて、あなごも癒になってみませんか。

ここでもお湯を沸かさない、まっさらな風景と静けさを感じながら。

サウナ（サウナ飯）
おんせん県いいサウナ研究所



おんせん県いいサウナ研究所



美しい川を活用した川サウナや鍾乳洞サウナ、ユニークな小屋サウナなど、豊かな大自然を活用したアウトドア・サウナを提供。現在は、市内で5ヶ所で体験できます。

★「サウナのまち」での取組

令和2年12月6日 サウナ万博in豊後大野（会場：辻河原公園）

おんせん県いいサウナ研究所主催でサウナ万博（サウナイベント）を初開催。辻河原石風呂保存会の協力を得て、石風呂とテントサウナを体験できるイベントを実施し、豊後大野市の文化と魅力をPRした。コロナ禍の中で規模を縮小して行ったが、県内外のサウナ愛好者から注目を集め、多くのメディアにも取材を受けた。

〈有料／参加者約50名／NHK大分放送局の密着取材、大分版及び全国版で放送〉

令和3年7月18日 サウナのまち宣言式

コロナ禍でも3密を避け外で安心して体験できるアクティビティとして認知され、個人・家族単位でのマイクロツーリズムを推進、誘客を図ることができ、注目されてきたタイミングで「サウナのまち」を宣言。

民間主導で行ってきたことを行政がサポートできる体制（予算面等を踏まえ）を整え、官民一体となったサウナを通じてのまちづくり、誘客活動を実施することとなった。

令和3年10月23日 第2回サウナ万博in豊後大野（会場：ロジきよかわ）

予約チケット130名分完売。地元飲食店によるサ飯、サウナドリンクの提供、地元郵便局とのコラボ企画（サウナのまちから手紙を送ろう）を行った。また、人気ランイベントの開催、大塚製薬のブース出店など、様々な企業と関わり、多方面への発信を行った。

〈有料／関係者を含め、県内外から150名の参加／おんせん県いいサウナ研究所主催〉

令和4年1月11日 伐採木の有効活用に関する連携協定

大野郡森林組合とおんせん県いいサウナ研究所による連携協定。両者の課題解決に向け、市の仲介で協定を結んだ。未利用材や端材を無償で提供してもらいサウナの薪として使用する。環境に優しい「サウナのまち」を目指し活動を継続している。

令和4年3月7日 サウナ飯キャンペーン（サウナのまちオリジナルグッズ配付）

サウナ飯のPRのため、サウナ施設、サウナ飯協力店舗でオリジナルグッズ（キーホルダー、スナップバンド、バッグ等）を配付

★「サウナのまち」での取組

令和4年10月6日 第3回サウナ万博in豊後大野（会場：ロジきよかわ）

地元飲食店によるサ飯、サウナドリンクの提供、バンド演奏や抽選会などのステージイベントを行った。
SAUNA CARなど各種テントサウナの体験を行った。
〈有料／関係者を含め、県内外から200名の参加／おんせん県いいサウナ研究所主催〉

令和4年11月～令和5年3月 サウナのまちへやってきてキャンペーン

豊後大野市への誘客及び市内での周遊を促進するため、宿泊割引チケット及びサウナのまちクーポン（商品券）を配付するサウナのまち誘客キャンペーンを実施した。

令和4年12月 アウトドア・サウナ施設等整備事業補助金開始

市内全域でアウトドアサウナを体験できる環境を整え、本市への誘客を図るためアウトドア・サウナ等の整備に必要な費用を補助する事業を開始した。

令和5年2月10日 「おんせん県いいサウナ研究所」が令和4年度ふるさとづくり大賞 団体表彰・総務大臣表彰を受賞

地域資源のデメリットを逆手にとったユニークな取り組みに新たな地域の再生のあり方を示唆している点などが評価され、令和4年度ふるさとづくり大賞団体表彰・総務大臣表彰を受賞した。

ふるさとづくり大賞

全国各地で、それぞれのところをよせる地域「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、ふるさとづくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的として、昭和58年度から実施されている。

都道府県から推薦のあった団体、地方自治体及び個人の中から、「ふるさとづくり懇談会」の意見を踏まえ、総務大臣が受賞者を決定。令和4年度は合計25団体4名が受賞。

★「サウナのまち」での取組

令和5年4月24日 「デトロイト・メタル・シティ」とのサウナPRコラボ動画公開

漫画家・若杉公德氏（大分県豊後大野市出身）の作品『デトロイト・メタル・シティ』によるサウナPRコラボ動画を作成した。またサウナの入り方を巻物にした指南書を作成、市内サウナ施設で無料にて配布した。



令和5年5月 令和5年度アウトドア・サウナ施設等整備事業補助金

市内全域でアウトドアサウナを体験できる環境を整え、本市への誘客を図るため、アウトドア・サウナ等の整備に必要な費用を補助する。使い易いよう一部要件を改正のうえ、令和4年度に引き続き実施。

令和5年10月21～22日 第4回サウナ万博in豊後大野 (会場：ロジきよかわ)

今年は初の2日間の開催となり、県内外から多くのサウナ愛好家が訪れた。フィンランドの関係者と川野市長のトークショーのほか、フィンランドのお菓子の提供やサウナ飯の販売、バンド演奏、各種テントサウナの体験なども行われた。

〈有料／関係者を含め県内外から約400名参加／おんせん県いいサウナ研究所主催。トークショーなど一部無料イベントあり〉



令和5年12月～ サウナのまちへやってくるキャンペーン

豊後大野市への誘客及び市内での周遊を促進するため、サウナのまちクーポン（商品券）を配付するサウナのまち誘客キャンペーンを開始した。

★事業概要（予算内容）

アウトドア・サウナを新たな観光資源として活用し、サウナを入口とした観光客を市内へ周遊させ滞在時間の延長を図るため、サウナ、宿泊、飲食店、小売店など市内観光関連事業者と連携した取組を進めることで、「サウナのまち・豊後大野」の定着と本市への誘客促進及び地域経済の活性化を図る。

〈令和3年度 6月補正／コロナ交付金活用〉

①地域資源活用促進事業委託料（1,800,000円）

- ・市内飲食店と連携したPRパンフレットの作成（サウナ飯協力店舗20店舗）
- ・サウナのまちロゴデザインの作成、ステッカー及びノベルティの作成

②サウナのまち特設ページ作成委託料（385,000円）

- ・市公式ホームページ内にサウナのまちPR用の特設ページを作成

〈令和4年度 当初／コロナ交付金活用〉

①サウナのまち推進事業委託料（5,300,000円）

- ・サウナのまち誘客促進事業（宿泊割引、クーポン（商品券）の配付、周遊プランの助成）
- ・サウナのまちPR用パンフレットの作成
- ・サウナのまちPR用啓発品、サウナ土産デザイン作成

②アウトドアサウナ整備支援事業補助金（1,300,000円）

市内全域でアウトドアサウナを体験できる環境を整え、本市への誘客を図るためアウトドア・サウナ等の整備に必要な費用を補助する。

- ・補助内容：補助率 1/2（上限100千円／事業者 13事業所を想定）

〈※里の旅公社 大分県観光産業リバイバル推進事業実証委託も活用（約3,500千円）〉

★事業概要（予算内容）

〈令和5年度 当初〉

①サウナのまち推進事業委託料（6,000,000円）

- ・サウナのまち誘客促進事業（宿泊割引、クーポン（商品券）の配付、周遊プランの助成）
- ・サウナのまちPR用パンフレットの作成
- ・サウナのまちPR用啓発品、サウナ土産デザイン作成

②アウトドアサウナ整備支援事業補助金（1,500,000円）

- ・市内全域でアウトドアサウナを体験できる環境を整え、本市への誘客を図るためアウトドア・サウナ等の整備に必要な費用を補助する。
- ・補助内容：補助率 1/2（上限100千円／事業者※新規事業者は200千円 13事業所を想定）

★推進体制

豊後大野市（行政）・ぶんご大野里の旅公社（観光協会）・おんせん県いいサウナ研究所（民間）が連携して、サウナのまちのプロモーション事業を実施している。

★サウナを起点とした市内を回遊する仕組みづくり

「サウナ+α」で市内周遊を促進。心も体も満たす“ととのう”旅を提供



日本唯一“鍾乳洞”での水風呂



“サウナ飯”



“サウナスイーツ”

★事業効果

【サウナ利用者数】

令和2年度	834名
令和3年度	4,214名（令和2年度の約5倍に増加）
令和4年度	8,725名（令和3年度の約2倍に増加）
（令和5年度は 10,000名を超える見込み）	

【メディア等】

NHK「あさイチ」、テレビ東京「ガイアの夜明け」、ABC「朝だ！生です旅サラダ」
TBS「マツコの知らない世界」「新・情報7daysニュースキャスター」等全国テレビ
放送、地元テレビ放送、ラジオ、新聞、雑誌、WEBメディア等多数掲載

